

閣副第 1763 号
令和3年11月2日

各都道府県・政令指定都市

広報担当部長
(広報担当課扱い)
市区町村担当部長
(市区町村担当課扱い)
民生主管担当部長
(孤独・孤立対策担当課扱い)

様

内閣官房副長官補付(内政担当)
孤独・孤立対策担当室参事官
(公 印 省 略)

孤独・孤立対策ホームページの新設にかかる周知について(依頼)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により孤独・孤立に悩んでいる方の増加が懸念される中、令和3年2月より、孤独・孤立対策担当大臣が司令塔となり、政府一体となって孤独・孤立対策に取り組んでいます(詳細については別添1を参照)。その一環で、当室では一般の方向けのホームページを新設しました。ホームページのアドレスは次のとおりです(概要は別添2を参照。)

<https://notalone-cas.go.jp/>

あなたはひとりじゃない 孤独・孤立対策 検索

上記ホームページでは、孤独・孤立で悩みを抱えている方が各種支援制度や相談先を探しやすくなるよう、自動応答により案内するシステムを搭載しています。また、悩みを抱えている方が支援を求める声を上げやすいよう、よくある質問とそれへの回答、専門家からの悩みを抱えている人向けの情報、孤独・孤立対策担当大臣からのメッセージを掲載しています(別添3、別添4)

本ホームページについては、孤独・孤立で悩みを抱えている人に広く活用していただくことが重要であり、そのためには各地方公共団体において関連施策のページにリンクを貼る又は本ホームページを紹介するなどしていただくことが有効であると考えています。

大変お手数ですが、広報担当課におかれましては、関連事業の広報時の御活用を、市区町村担当課におかれましては、管内市区町村への周知を、孤独・孤立対策担当課におかれましては、孤独・孤立対策事業の実施時の御活用や関係団体への周知をいただくよう、格別の御配慮をよろしくお願いいたします。

【本件連絡先】

内閣官房孤独・孤立対策担当室 田村、中村、うつきさわ 檜澤

電話 03-5253-2111 (82839, 82841, 82843)

E-mail kodoku.koritsu.taisaku.k7x@cas.go.jp

孤独・孤立対策について

孤独・孤立の問題の現状及び講じてきた施策

○長引くコロナ禍の影響で、孤独・孤立の問題がより一層深刻な社会問題となっている。

- ・自殺者数(令和2年)：【総数】 21,081人 (前年比912人増)
【女性】 7,026人 (前年比935人増)
【児童生徒】 499人 (前年比100人増で過去最多)
- ・DV相談件数(令和2年度)：19万0,030件 (前年度の1.6倍)
- ・児童虐待相談対応件数(令和2年度)：20万5,029件 (前年比1万1,249件増)
- ・完全失業者数(令和3年9月分)：192万人 (令和3年6月まで17か月連続で対前年同月で増加、7月以降は改善の兆し)

➡ **孤独・孤立対策担当大臣が司令塔となり(令和3年2月～)、政府一体となって孤独・孤立対策を実施**

- ・自殺防止・生活支援等に取り組むNPO等に約60億円の緊急支援を実施(3月)
- ・NPO等の現場の声を孤独・孤立対策に反映させるため、「孤独・孤立に関するフォーラム」を開催(2月に「緊急フォーラム」、6月以降「フォーラム」を8回開催)
- ・孤独・孤立対策に関する連絡調整会議の開催(3月～これまでに5回開催)
- ・こども向けホームページを新設し、適切な相談先へ案内する仕組みを導入(8月)

今後の基本的方向性及び具体的施策

➡ **孤独・孤立に悩む人を誰一人として取り残さない社会を目指す**

<骨太方針2021を踏まえ、孤独・孤立対策に係る施策をさらに推進>

- 孤独・孤立に陥っても支援を求める声を受けやすい社会とする
 - ・孤独・孤立の実態を把握するための全国調査を実施し、年度内に結果公表
 - ・各種支援制度や相談先を案内するホームページ(一般向け)を11月に運用開始
- 孤独・孤立に陥った方を切れ目のない相談支援につなげる
 - ・電話・SNS相談の24時間対応の推進、相談支援に当たる人材の育成支援(予算要求)
- 人と人との「つながり」を実感できる地域づくりを推進する
 - ・子ども食堂、フードバンク活動の支援、子育て支援拠点など居場所の確保、地域における包括的支援体制を推進(予算要求)
- 孤独・孤立対策に取り組むNPO等の活動をきめ細かく支援し、官・民・NPO等の連携を強化する
 - ・NPO等の活動へのきめ細かな支援(予算要求)
 - ・NPO等との連携の基盤となるプラットフォームの形成(関係団体と調整中)

<具体的な施策を盛り込んだ「孤独・孤立対策の重点計画」の策定>

- ・これまでの施策からさらに強化すべき点を含め、NPO等関係者の意見も踏まえて検討し、重点計画を年内に取りまとめ

別添2

孤独・孤立対策 新ウェブサイトの公開について

- 孤独・孤立に関する各種支援制度や相談先を一元化し、情報発信するウェブサイトを作成。
- 孤独・孤立に陥った時に支援を求める声を上げやすくなるコンテンツを掲載。
- 令和3年8月17日に18歳以下向けのページを先行公開。
(10月28日までの閲覧者はのべ約42万人)
- 令和3年11月2日に一般向けのページを公開。

【一般向けページ概要】 <https://notalone-cas.go.jp/>

- 名称「あなたはひとりじゃない」
- 自動応答によるチャットボットにより、約150の国の制度や相談窓口の中から利用者の悩みに応じたものを案内する機能を搭載。

(※悩みの分類は以下の12種類：

食事・住まい・家事、生活や医療に係る費用、仕事・職場、妊娠・出産、子育て、一緒に暮らしている人との関係、介護、犯罪被害・消費者被害、病気・依存症/社会復帰、交通事故・災害、新型コロナウイルス、悩みを話せる場所がない)

- 専門家から、悩みを抱える利用者に向けて、役立つヒントを掲載（相談窓口の上手な活用方法、ストレスに対処する方法）。
- 孤独・孤立対策に係る大臣メッセージを掲載。

【一般向けトップページ】



【専門家からのヒント画面(トップページ内)】



(参考)

【18歳以下向けページ概要】

○自動応答によるチャットボットにより、SNS、電話、手紙の11件の相談先等を紹介する機能を搭載。

○公開日に、悩みを抱える子どもたちが活用できるよう御配慮いただくこと等について、文部科学省を通じて、各教育委員会に周知。

【18歳以下向けトップページ】



【チャットボット画面】



野田大臣から皆さんへのメッセージ

こんにちは。孤独・孤立対策担当大臣の野田聖子です。

新型コロナウイルスの影響が長引いている中で、心の不調を感じている方が多くおられると思います。

また、悩みを抱えている方も多くおられると思いますが、支援制度や相談先があるのに、それを知らずに一人で悩みを抱え込んでいませんか。悩みごとを誰かに打ち明けたり、相談したりしていますか。

こうした方々に向けて、「孤独・孤立対策ウェブサイト」では、私たちが孤独・孤立対策に関連するものとして現在考えている制度や相談窓口の中から、ご自身の状況にあった支援をお探しいただくことができます。今後も内容を充実させていきますが、少しでも早く必要な情報を、悩みを抱えておられる方々に届けたいと思っています。

どんなに頑張っても自分だけではどうしようもない状況に追い込まれるときは、誰にでもあります。私自身も、孤独感や孤立感に陥るときはあります。

そんな時には、誰かに相談して悩みを打ち明け、一緒に考えてくれる人とつながることで、今の状況が少しでも良くなるはずと、そう信じています。悩みを誰かに打ち明けることは、決して恥ずかしいことではなくて、あなた自身を守るために必要なこと、そう信じて前に進んでみてください。

孤独感や孤立感の中で様々な悩みを持っておられる方々のために私たちができることを、政策として実行していくため、全力を尽くしていきます。

孤独・孤立対策担当大臣 野田 聖子

野田大臣から18歳以下のみなさんへのメッセージ

こんには。孤独・孤立対策担当大臣の野田聖子です。

悩みを誰にも相談しないで、ひとりで苦しい気持ちをかかえこんでいませんか。自分だけでなんとかしようと、もがいていませんか。

私たちはみんな、誰かに助けられたり助けたり、ささえあうことで、つらいときを乗り越えることができます。

悩みがあつてつらいときに、よりそってくれる人や一緒に考えてくれる人は、きっといるはずです。親、先生、友達、地域の人など、信頼できる周りの人に、まず相談してみてください。

それでも、周りには頼れる人がいない、誰も助けてくれない、ということがあつてもいいかもしれません。

そう思うときは、このウェブサイトで紹介している相談先の方々に、みなさんの悩みを話してみてください。このウェブサイトには、みなさんの気持ちを受け止めて、ささえてくれる人がいます。

いま、みなさんが苦しい気持ちをかかえていても、解決方法を見つけられたり、少し見方を変えると今まで気がつかなかつたことが見えてきたりして、気持ちが和らぐことがあります。

あなたはひとりじゃない。どうか、ひとりでかかえこまずに、まず誰かに相談してみてください。

孤独・孤立対策担当大臣 野田 聖子